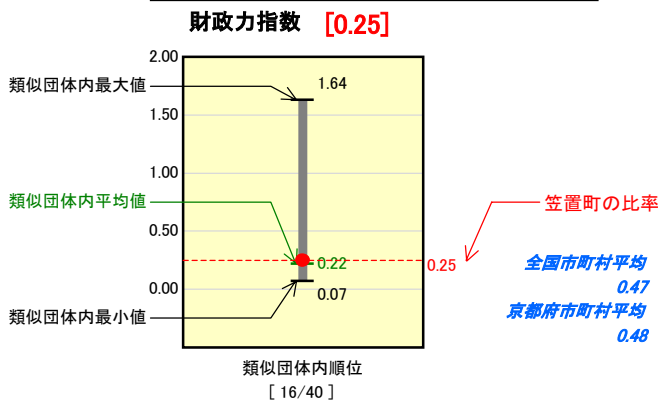


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

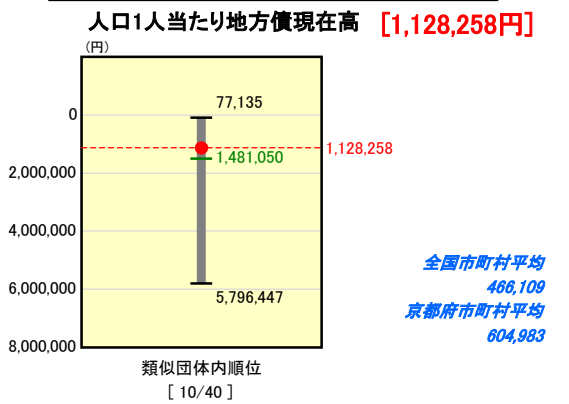
京都府 笠置町

人口	1,988人(H17.3.31現在)
面積	23.57 km ²
歳入総額	1,691,671千円
歳出総額	1,599,978千円
実質収支	90,635千円

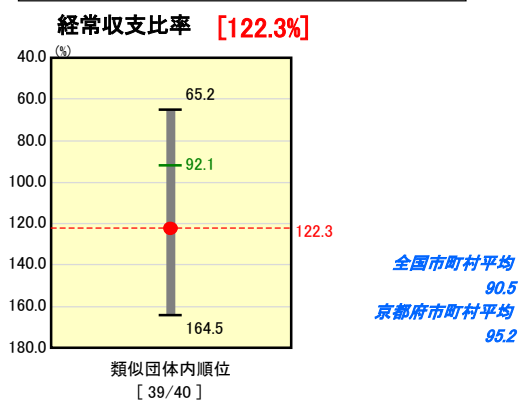
財政力



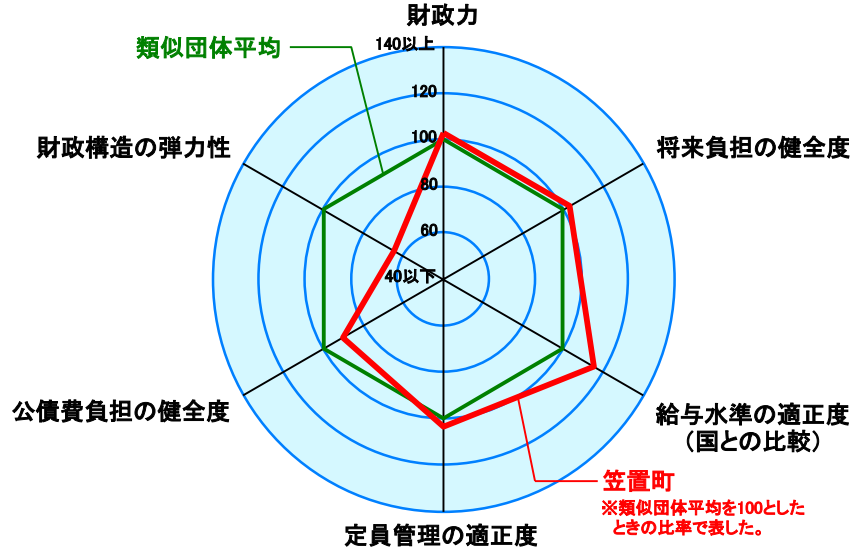
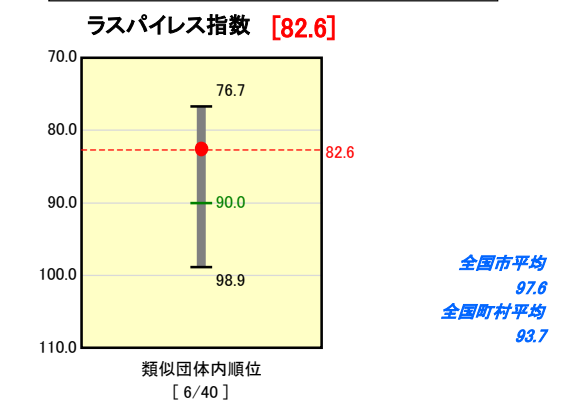
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

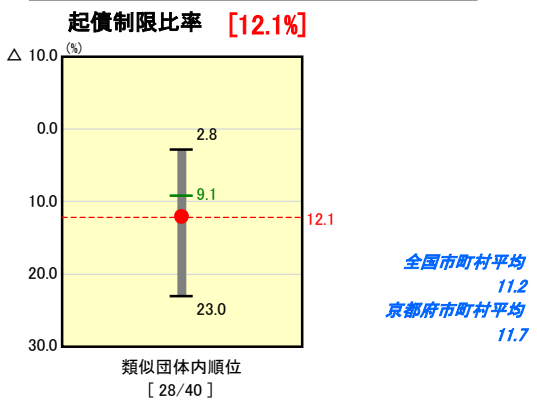


給与水準の適正度(国との比較)

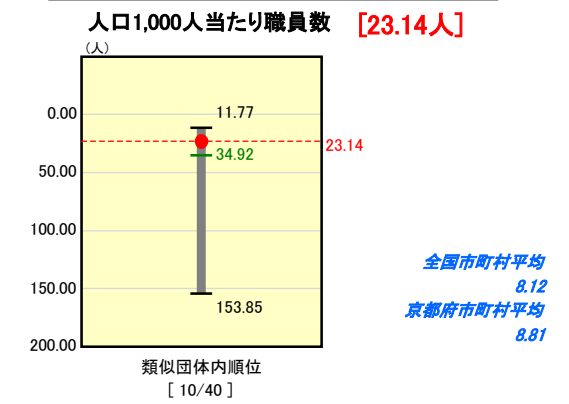


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

【財政力指数】
主たる自主財源である町税が歳入総額に対して1割程度と低い中、若年層の転出等による人口の減少や住民の高齢化(高齢化率・17年12月末32.2%)が進んでいる上、企業誘致も望めず、財源確保が非常に厳しい状況にある。退職者不補充等による人件費の削減等、歳出の徹底的な見直しに努める。

【経常収支比率】
自主財源が乏しく、経常一般財源の大部分を地方交付税に依存している財政構造であるため、類似団体平均に比べ比率が高い。義務的経費である公債費については、地方債の借換等により削減し、人件費については、新規採用の抑制や手当の見直し等により削減を図る。

【起債制限比率】
類似団体平均よりも高い比率であるが、平成17年度から平成19年度にかけて、「いこいの館」建設事業に係る地方債の満期一括償還を行い、それ以降は減少に転じるものと見込んでいる。満期一括償還分については、借換により償還額の平準化を図り、比率の急激な上昇を抑える(平成17年度実施済)。

【人口1人当たり地方債現在高】
他の市町村に比べ、大規模な公共事業が少なかったことから、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後も引き続き地方債発行の抑制や借入先の選定等により、類似団体平均を上回ることのないよう努める。

【ラスパイレズ指数】
類似団体平均を下回っている。今後も、一層の給与適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均を下回っている。今後も、事務の見直しや新規採用の抑制等により、一層の適正化に努める。